



平成30年8月27日 発行
川沿保育園

全面発達を支えるリズム運動



蒸し暑かった日々もお盆を過ぎると心地よい風が吹き始め、気温も和らぐようになってきました。この時期は、朝と日中の気温差が大きく、夏の疲れが出やすくなるので子ども達の体調面に気を配りながら残り少ない夏のあそびを楽しんでいきたいと思ひます。

先日、七夕パーティーがあり、お家の人達にお願い事を書いてもらった短冊を、そう組がのこぎりを使って切ってくれた柳の木に飾りました。その中に「トマトがおいしくなりますように…」となんともかわいらしいお願い事を見つけました。きりん組の子がお願いしたようです。きりん組で育てているミニトマトが鈴なりに実を付け赤くなり、まさに今、お日様や水やりの力で甘くなろうとしている時だったのです。きりん組の子ども達が、小さな身体でバケツや容器に水を入れて運び、水やりしている姿が目につかび、思わず微笑んでしまいました。後日、そのミニトマトを収穫した時に「ちゃんと洗ったから食べて良いよ」と持ってきてくれ、みんなでお味見。相当大事に握りしめていたのでしょう、ぬる〜いミニトマトになっていました。笑 お味は甘くて最高の味！！忘れられない味に感謝です。一人ひとりの大事なお願い事、叶うことを願っています。

園では、楽しい音楽のリズムに合わせて、親しみのある色々な運動や動くものになり、走ったり止まったり・跳んだり・転んだり・這ったりし子どもの身体の骨や筋肉・関節の発達を促し育てていく活動、筋肉から脳への刺激を送り続ける運動の数々が子どもの発達を支える大事なものとして捉え、日常的に行っています。

散歩先でも、広い芝生を見つければうたを歌い口伴奏で行えるので、子ども達にとって身近なあそびとなっているようです。

うさぎのリズムでは、2才を過ぎた頃から両足を揃えて床からピョンピョン跳ぶ事が出来るようになります。1才児は足を床につけたままかかとを上げ下げしたり、左右交互になりながらも跳ぼうとする模倣の意欲がみられ、自分の持っている力を精一杯発揮させるのです。

年齢が大きくなれば大きくなるほど、もっと速いスピードで走りたい！素敵になりたい！と課題を自分で見つけ出し、顔つきが真剣になる事も見られ、可能性を秘めた向上心を感じられずにはられません。運動会の時に一部披露します！！

また、11月頃に、親子で楽しむリズム学習会を予定していますので、楽しみにしてて下さい。

行事



- 5日(水) 遠足(きりん組)
- 6日(木) 円山登山(そう・くま組)
- 13日(木) 運動会リハーサル
- 16日(日) 運動会
- 21日(金) お月見
- 26日(水) 遠足(くま組)
- 27日(木) 遠足(いるか組)
- 28日(金) 避難訓練

- 2日(火) ぶどう狩り
(そう・くま・きりん組)
- 3日(水) 味覚パーティー
- 10日(木)～11日(金)
そう組合宿
- 21日(日) バザー
- 24日(水) 避難訓練

ご協力ありがとうございます。

個人別タオルの用意、ありがとうございます。

大きい子達は、使ったタオルを自分で汚れ物袋の中へ入れてあります。名前の記入をしっかりと書いていただき、絵やマーク等子どもが分かりやすい目印があると、間違い防止になると思いますので、お子さんと確認をお願いします。

西日本豪雨による被災者への義援金のご協力、ありがとうございました。

復興がなかなか進んでいない状況もありますが、私立保育園連盟を通じて届けて頂きます。一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。